

2022年 6月23日

京成電鉄株式会社
株式会社イウォレ京成
株式会社コミュニティー京成
一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ

鉄道による貨客混載で千葉県産農産物の利用を推進します

- ①成田空港内レストラン「京成友膳」で新メニュー提供開始（本格運用）
- ②モーニングライナーで運んだ農産物を京成上野駅で販売（実証実験）

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也）、京成グループのイウォレ京成（本社：千葉県千葉市、社長：東原 光陽）、コミュニティー京成（本社：千葉県八千代市、社長：平 敏久）、一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ（通称：チバベジ、所在地：千葉県佐倉市、代表理事：鳥海 孝範）は、CO2排出量の削減と食品ロスの削減の貢献に向けて、規格外野菜を含む千葉県産の農産物を鉄道による貨客混載で輸送し活用する取り組みを行います。

本年3月11日より、チバベジが販売する規格外野菜を含む千葉県産の農産物を、成田空港内でイウォレ京成が運営する和食レストラン「京成友膳」で提供する実証実験を行ってまいりましたが、輸送の安全性の確認ができたことや、提供するメニューが整ったことから、2022年7月8日（金）より本格運用を開始します。

また、新たに、チバベジが販売する農産物を有料特急「モーニングライナー」で京成上野駅まで輸送し、コミュニティー京成が運営する「ファミリーマート京成上野駅店」で販売する実証実験を実施します。

京成グループとチバベジが連携し、トラック配送の代替と地産地消の推進によるCO2排出量の削減及び規格外野菜の活用による農場での食品ロスの削減により、SDGs達成に貢献してまいります。

本件の概要は、次頁の通りです。



チバベジが販売する千葉県産野菜（イメージ）

貨客混載の取り組みの概要

1. 京成佐倉駅～成田空港駅の輸送(本格運用)

(1)開始日

2022年7月8日(金)～

※輸送する農作物はいずれも千葉県産で、規格外野菜を含みます。

(2)輸送の流れ



(3)農産物の活用

成田空港内でイウォレ京成が運営する和食レストラン「京成友膳」で、新たなオリジナルメニュー「京成電車で運んだシリーズ」として提供(数量限定)

☆「京成電車で運んだ」千葉野菜入りの季節のかき揚げそば／うどん1,300円(税込)



☆「京成電車で運んだ」千葉野菜入りの季節の100時間カレー1,280円(税込)



☆「京成電車で運んだ」千葉野菜入りの季節のサラダ 900円(税込)



【京成友膳について】

成田空港第1ターミナルビル4階に位置する、定食メニューを主体とした和食ファミリーレストランです。魚、肉料理と天ぷら、寿司、そばの組み合わせによる特色ある定食メニューを取り揃えています。

店舗URL：<https://www.iworekeisei.co.jp/restaurant/yuzen/>

2. 京成佐倉駅～京成上野駅の輸送(実証実験)

(1)実施日

2022年7月12日(火)

※輸送する農作物はいずれも千葉県産で、規格外野菜を含みます。

※列車の運行状況により、変更・中止となる可能性があります。

(2)輸送の流れ



チバベジが農産物を
京成佐倉駅へ持ち込み



有料特急「モーニングライナー」
輸送サービス提供

ファミリーマート京成上野駅店

(3)農産物の活用

コミュニティー京成が運営する京成上野駅構内の「ファミリーマート京成上野駅店」で農産物を販売

【実施日時】 2022年7月12日(火) 10時00分～ (売り切れ次第販売終了)

3. チバベジについて

農産物を廃棄せずに流通させることで農場における食品ロスをなくすことや、持続的な農業の仕組みづくりを通じて持続可能な社会をつくることを目指し、規格外野菜の販売や農業体験などに取り組んでいます。

URL：<https://chibavege.jp/>

4. SDGsへの貢献について

トラック配送の代替と
地産地消の推進による
CO2 排出量の削減



規格外野菜の
活用による
食品ロスの削減



以上